



# 日・韓・中ジュニア交流競技会

Japan-Korea-China Junior Sports Exchange Meet

## 概要







## はじめに

日・韓・中ジュニア交流競技会は、アジア近隣諸国との青少年スポーツ交流を促進し、これを通じて相互理解を深め、競技力向上に資するため、1993年(平成5年)より日本・韓国・中国による持ち回りで開催されています。

参加選手は、日本・韓国・中国と開催地選抜の4チームからなり、高校生世代では珍しい国際的な複数競技による大会として発展してきました。

日本選手団は、各競技とも、高校生世代の国内競技大会で好成績を取めているトップレベルの選手を中心として編成され、韓国・中国選手団と毎年熱戦を繰り広げています。

オリンピック出場選手や、その他の国際競技会で現在活躍している選手が過去の本競技会に参加している実例もあり、日本の競技力向上に大きな役割を果たしています。

## 競技会の前身

高校生を対象とした日・韓ジュニア交流競技会は、1968年(昭和43年)に第1回競技会が韓国・ソウルで開催されました。以来、日本と韓国で交互に開催し、1992年(平成4年)までに通算20回を数えました。

一方、日・中ジュニア交流競技会は、1982年(昭和57年)に第1回競技会を日本の千葉県で開催しました。以後、中国と日本で交互に開催し、1992年(平成4年)までに通算11回実施されました。

## 本競技会開催経緯

1992年(平成4年)8月に韓国・中国間の国交が正式に樹立されたことを受けて、日本は、日本・韓国・中国によるジュニア交流競技会の開催を提案しました。同年12月、3カ国の代表(日本体育協会、大韓体育会、中華全国体育総会)が東京にて会議を行い、3カ国ジュニア交流競技会の開催に合意しました。

このジュニア交流競技会は、3カ国の持ち回りとして開催することになり、翌1993年(平成5年)第1回日・韓・中ジュニア交流競技会を日本の福島県において開催しました。第1回から第6回大会までの実施競技は9競技で、日本と韓国はいずれの大会も全競技に参加していますが、中国は必ずしも全競技には参加していませんでした。日本の広島県で開催された第7回大会からバレーボールが加わり10競技となり、この大会以降3カ国が全競技に参加しています。さらに「2002年日中韓国民交流年」記念事業として日本の熊本県で開催された第10回大会からは、新たにウエイトリフティング競技を加えた11競技で実施されています。

## 競技会開催概要



**対象** 競技出場者は、18歳以下の高校生とする。

**期日** 8月23日～29日 7日間

### ◇実施競技及び人数構成(予定)

競技	陸上競技	サッカー	テニス	バレーボール	バスケットボール	ウエイトリフティング	ハンドボール	ソフトテニス	卓球	バドミントン	ラグビーフットボール	本部役員	合計
人数	25	21	11	29	29	20	33	15	13	15	25	8	244

◇2010年(第18回)開催地 中国・河南省 鄭州

◇2011年(第19回)開催地 日本・愛知県

◇2012年(第20回)開催地 韓国





## 日・韓・中ジュニア交流競技会 過去大会開催一覧

回数	開催年	開催国	開催期日	参加及び人数				実施競技
第1回	1993年 平成5年	日本 福島県	8月25日 ? 8月30日	日本	181	中国	79	【9競技】 1.陸上競技(男女) 2.サッカー(男) 3.テニス(男女) 4.バスケットボール(男女) 5.ハンドボール(男女) 6.ソフトテニス(男女) 7.卓球(男女) 8.バドミントン(男女) 9.ラグビーフットボール(男)
				韓国	184	福島県	202	
計 646								
第2回	1994年 平成6年	韓国 済州道		日本	185	中国	103	
				韓国	185	済州道	166	
計 639								
第3回	1995年 平成7年	中国 唐山市		日本	186	中国	195	
				韓国	185	唐山市	93	
				近隣諸国	154			
計 813								
第4回	1996年 平成8年	日本 長崎県		日本	183	中国	140	
				韓国	186	長崎県	206	
計 715								
第5回	1997年 平成9年	韓国 忠州市		日本	181	中国	82	
				韓国	185	忠清北道	169	
計 617								
第6回	1998年 平成10年	中国 石家庄市		日本	185	中国	201	
			韓国	184	河北省	108		
計 678								
第7回	1999年 平成11年	日本 広島県	日本	213	中国	215		
			韓国	214	広島県	238		
計 880								
第8回	2000年 平成12年	韓国 全州市	日本	211	中国	207	【10競技】 上記9競技 + 10.バレーボール(男女) ※1	
			韓国	216	全羅北道	193		
計 827								
第9回	2001年 平成13年	中国 瀋陽市	日本	215	中国	216		
			韓国	211	瀋陽市	150		
計 792								
第10回	2002年 平成14年	日本 熊本県	日本	230	中国	220		
			韓国	225	熊本県	249		
計 924								
第11回	2003年 平成15年	韓国 済州道	日本	234	中国	238		
			韓国	241	済州道	208		
計 921								
第12回	2004年 平成16年	中国 長春市	日本	233	中国	242		
			韓国	227	長春市	153		
計 855								
第13回	2005年 平成17年	日本 北海道	日本	236	中国	236		
			韓国	234	北海道	290		
計 996								
第14回	2006年 平成18年	韓国 大邱広域市	日本	238	中国	242		
			韓国	234	大邱市	206		
計 920								
第15回	2007年 平成19年	中国 桂林市	日本	238	中国	246		
			韓国	234	広西桂林	155		
計 873								
第16回	2008年 平成20年	日本 千葉県	日本	238	中国	240		
			韓国	234	千葉県	231		
計 943								
第17回	2009年 平成21年	韓国 木浦市	日本	236	中国	239		
			韓国	239	全羅南道	220		
計 934								
合計 13,973								

備考 視察員、追加競技役員等は各国選手団人数から除外している。

※1 バレーボールは日本(広島)の希望により追加競技として第7回より実施。競技数が10競技となった。

※2 開催期日は3カ国の合意に基づき、第8回以降8月23日から29日の7日間となっている。

(従来より2日早め、第1日は到着のみとし、期間を1日多くした)

※3 ウエイトリフティングは日本の希望により、追加競技として第10回より実施。競技数が11競技となった。



日本のスポーツ100周年 誇れる未来に あらたな一歩

日本体育協会は平成23(2011)年に創立100周年を迎えます